

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [世話役活動について](#) ③
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

世話役活動について ③

活動担当者の心構え・要件

充実した世話活動を推進する基本は、何と言っても担当者の人柄と能力にかかっています。明るい性格で皆に信頼される担当者がいてこそ、組合員は悩みや心配事を相談しに来るのです。したがってここでは、担当者の心構え・要件について考えます。

活動担当者の心構え・要件

1. 労働組合は「組合員の世話をする組織」という意識を持つこと。
2. 誠意を持って、組合員と組合員の抱える問題に関心を持つこと。
3. リーダー、担当者として十分な知識を持つこと。
4. 明るい性格で、くよくよしないこと。
5. 行動力と的確な判断力を備えていること。

以上のような、「心構え・要件」が求められるでしょう。したがって、担当者には「組合の知識」「職場の事情」「会社・組合の状況」を知り得、自ら活動の第一線に立つ「職場活動家」「組合機関員（職場委員など）」が最適だと考えます。

世話活動の進め方

世話活動は、組合員からの相談があってスタートするのが普通です。しかし、個人的な悩みや心配事はなかなか相談しにくいものです。そのため、手遅れになってしまう場合もあります。したがって、活動家・担当者は、組合員に関心を示し、その変化や心の内を察するよう心掛ける必要があります。ただ、親切の押し売りやプライバシーには十分注意する必要があります。そして、問題の見極めも重要です。

- ① 担当者と組合員の協力で解決することがか。
 - ② 専門家が要るか。
 - ③ 組織的な対応が必要か。
- ・・・などを考慮し、対処します。

世話役活動の指針をつくる

活動を進めるための指針やマニュアルがあると、効果的で手落ちのない活動ができます。ただ、問題は千差万別で、状況の変化も激しいので、マニュアルを参考にしながら、それにとらわれない臨機応変な態度形成も必要です。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

